令和２年１０月８日　第９号

坂戸市立三芳野小学校　学校だより　ＨＰ用

若　葉

のびのびと生きる子　みんなと仲良くする子　よろこんで学ぶ子　しんけんに体をきたえる子

令和2年度目指す学校像：互いのよさを認め伸ばし、一人ひとりが成長の喜びを実感できる学校

秋の運動会大成功

両団長の力強い選手宣誓

１０月３日（土）、晴れ渡る秋空の下、令和２年度運動会が 開催されました。感染拡大を図るため、種目を減らし、時間を短縮し、保護者の皆様にも、ソーシャルディスタンスの確保や入れ替え制等、さまざまな制限をしての実施となりました。

練習時間も、昨年より10時間ほど少なかったのですが、朝の会の歌練習、業間休みのリレーの練習、昼休みの応援練習・係会議等、子どもたちも忙しかったと思います。しかし、こうした状況の中でも、前向きに練習に取り組み、「今、出来ること」を精一杯やってきたという自信が当日の行動によく表れていました。

旗手の６年生を先頭に、胸を張って堂々と入場してきた児童は、進行の間が空いても集中を切らすことなく、姿勢を保っていました。

開会式の中では、児童代表６年生の言葉も、最上級生らしい立派なものでした。白組団長、赤組団長による力強い選手宣誓は、その日１日の決意を見事に表現していました。

５年生から始まった徒競走は、各学年とも、赤白一歩も譲らず、ゴールするまで誰が勝つか分からない見応えのあるレースでした。

１・２年生の「たまごっち玉入れ」は、かわいいダンスに思わずほほが緩んでしまいました。

３年生の「はこぶぼくらの元気玉」は、息がぴったりと合い、退場前のポーズも冴えていました。

４年生の「三芳野タイフーン」は、めまぐるしい展開、態勢の立て直しの早さが見応え満点でした。

５年生の「おたすけつなひき」は、パワー、走力、作戦の総合力の戦いで、手に汗を握りました。

６年生の「全員リレー」は、迫力満点の美しい走りに、さすが最上級生と感心させられました。

そして、運動会のフィナーレを飾る選抜リレーは圧巻でした。バトンの引き継ぎもとてもスムーズで、練習の成果が遺憾なく発揮されていました。赤白伯仲した展開により、この種目はトータルで同点でした。ゴールを駆け抜ける６年生の姿は、後を継ぐ後輩達の記憶に深く刻まれたことでしょう。

感想発表では、１年生から６年生まで、楽しかったこと、がんばったこと、来年の目標等、前向きで充実した言葉がたくさん述べられていました。

いよいよ成績発表。期待と緊張感に満ちた表情で待つ子どもたちは、小刻みな小太鼓の音とともに、読み上げる「１の位」、「１００の位」の数字にはらはらどきどき、そして、最後に「１０の位」を読み上げたときには、歓声とため息が校庭に響き渡りました。

今年度は、応援合戦は無かったのですが、テントの前で旗を振り、体全体で仲間を応援する姿は、たいへん素晴らしかったです。

この運動会で培った、①本気で取り組む心、②最後まで諦めない心、③仲間を応援する心、の３つをこれからの学校生活でさらに伸ばしていってほしいと思います。

保護者の皆様

運動会へのたくさんの応援、ありがとうございました。制約の多い中でも、互いに譲り合って、和やかな雰囲気の中で、子どもたちの活躍をご覧いただけたことに、私たち職員一同、喜びを共にいたしました。また、テントの片付けでは、保護者の皆様の力強いご協力をいただき、瞬く間に、収納が完了しました。改めて、三芳野という地区のすばらしさを感じさせていただきました。これからも、与えられた条件の中で、子どもたちの可能性を全力で引き出していく所存です。ご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。